

8月25日

緩和ケア研修会 開催!

去年までは、従来の研修会(2日間)でしたが、がん対策基本法の改正に伴い「緩和ケア研修会」の開催指針が見直され、今年からは新たな「**がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会**」として、診療所などに勤務する医師も受講しやすいように、各自 e-learning を修了したのちに、1日だけの集合研修(グループ演習・ロールプレイ等)になりました。緩和ケアは、がんに限らずがん以外の疾患へも適切に提供されるよう、研修会の内容も「**がん診療**」から「**がん等の診療**」へと拡大し、中核病院だけではなく、**地域の全ての病院や在宅療養支援診療所の医師**の受講を求めています。

また、従来の研修対象者は、「がん診療に携わる全ての医師・歯科医師」を中心としていましたが、医師・歯科医師以外の医療従事者に対する緩和ケアの知識・対応も多く求められており、新たに研修対象者は医

師だけではなく「**緩和ケアに従事するその他の医療従事者(コメディカル)**」へも拡大となりました。

今年は、医師と共に多くの医療従事者(看護師・薬剤師・リハビリスタッフ・ソーシャルワーカー)が受講しました。グループ演習では各専門的な視点からの意見も多く飛び交い、患者さん・ご家族の希望に寄り添うために、良好なコミュニケーション(話し合い)と各専門的な関わり・連携が大切であるということを再確認できました。

また、去年の研修会から、NPO 法人がんサポートかごしまの三好綾さんを講師としてお招きし、今年も「**がん患者・家族が緩和ケアに望むこと**」と題して、がんの体験を通し、患者の思いや医療従事者に望むことについて大切なメッセージをお話し頂きました。

これからも済生会川内病院は、地域がん診療拠点病院の役割の1つとして、毎年8月に緩和ケア研修会を開催する予定です。

地域の多くの医療従事者の方々に受講して頂き、緩和ケアに対する知識やマインド(心)、チーム医療や連携の大切さを共に学ぶ機会にしていきたいと思っています。

文責：緩和ケア認定看護師 古川 いづみ



NPO法人がんサポートかごしま
三好 綾さん

新任 Dr. 紹介

新しく当院の医師となった2名をご紹介します。

産婦人科

氏名： **林 久雄**

出身地 熊本県
前赴任地 鹿児島大学病院
趣味 散歩

コメント こんちは! 医師12年目になり、川内には今回初めて来ました。産科と婦人科どちらも診療しています。川内に住んでいる方々に安定した医療を提供し、安心感を持って頂くために精一杯頑張ります。



産婦人科

氏名： **古謝 将鷹**

出身地 鹿児島市
前赴任地 県立大島病院
趣味 どこでも寝ること

コメント 前赴任地とはまた違った雰囲気の中で、楽しく仕事をさせて頂いております。まだ経験が浅く、不慣れな点もございますが、どうかよろしくお願致します。



最近の当院産婦人科の話題

Niji News

N CPR (新生児蘇生法) を開催しました

産婦人科 医長 森 まり絵 副院長兼産婦人科部長 松尾 隆志



令和元年8月10日、当院にてこホールにてN CPR (新生児蘇生法) 講習会を開催しました。N CPRとは、出生時を中心とした新生児を対象とする蘇生法であり、産科および小児科に携わるスタッフには不可欠なスキルです。

今回は鹿児島市立病院から新生児科の内藤善樹先生と谷口貴之先生をお招きし、今回は鹿児島市立病院から新生児科の内藤善樹先生と谷口貴之先生をお招きし、スキルアップ(S)コースを開催しました。スキルアップ(S)コースとは、専門および一次コース終了認定者が対象であり、講義・手技演習・シナリオ演習からなる継続学習支援コースです。

内藤先生の講義を受け、受講者は2グループに分かれ手技・シナリオ演習を行いました。配役を決めスタート。産まれてきた赤ちゃんが泣かない! 息をしない! こんな時どうする? 初期対応はしたけどまだ赤ちゃんは苦しそう... さあどうする? 予習し受講したスタッフたちは、知恵を出しあって臨んでいました。仮死で産まれることは、よくあることではありませんが、どんなお産でもいつ起こってもおかしくありません。今回の講習会は知識の再確認の場にもなったようです。また、N CPR講習会終了後に、鹿児島市立病院。当院合同医療連携カンファレンスを開催しました。早産児が院内出生した場合の対応や、母体・新生児搬送時の対応等、搬送ルートや必要物品など細部に渡って市立病院医師と当院産科・小児科医師および助産師で話し合いました。

